

平成29年度 第1回企画広報委員会の開催

第1回企画広報委員会を平成29年5月10日(水)、協会会議室で開催した。

1 議 題

- (1) 「えひめの産廃」第17号(5月号)企画編集について
 - ・ 修正箇所等あれば1週間以内に連絡
- (2) ホームページの運用状況について
 - ① ヒット数(資料参照)
 - ② ホームページについて
 - ・ ホームページアクセス解析(新旧ホームページで訪問回数とページビューを比較)
 - ・ 現在はアクセス解析を依頼しているがこちらでいつでも見られるようにしてくれることになった。
 - ・ 年1回IDとパスワードを変更する件についてはわからなくなる方が多いため変更しないことに決定。

(3) その他

- ① 「えひめの産廃」第18号(8月号)表

紙について

- ・ 表表紙
石鎚クライミングパークSAIJOで計画しており写真提供の依頼を西条市にしているが回答がないため県にプレ大会の写真を提供してもらう。
- ・ 第19号(11月号)は開会式の様子を掲載する。
- ・ 裏表紙 第18号繁多寺と第19号石手寺については富久委員、第20号太山寺第21号円明寺は岡本副委員長にお願いする。
- ② 次回委員会の開催日について
 - ・ 第18号(8月号)については次回新メンバーが決定してから各委員に都合を聞いて決める。
 - ・ 編集後記・・・片岡委員

上記の内容について協議し、「えひめの産廃」第17号(5月号)を5月末に発行した。

平成29年度 第2回理事会の開催

第2回理事会を平成29年5月29日(月)、第5回定時総会終了後メルパルク松山で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1 議 題

- (1) 会長(代表理事)、副会長、専務理事の選任について
議長は新理事に諮り協議の結果、以下のとおり満場一致で採択された。

代表理事(会長)

西山 周

副会長

中畑孝介、岩岡一平、村上正一
業務執行理事(専務理事)

水口定臣

- (2) 新規会員加入及び退会の承認について
事務局が資料に基づき説明をした。
- (3) その他

平成29年度 第2回総務委員会の開催

第2回総務委員会を平成29年7月10日(月)、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1 委員長・副委員長の選出について

委員の互選で村上委員が委員長となり、村上委員長が副委員長に中畑委員を指名した。

2 議 題

(1) 山本環境大臣を囲む会について

事務局より、山本環境大臣を囲む会の開催について説明があり、案のとおり開催することとなった。各地区で参加者を集め、50名以上にて開催をすることとなった。

(2) 資源循環促進税に関するヒアリングについて

事務局より、愛媛県からのヒアリング協力依頼及びヒアリング項目並びに資源循環税の概要について説明があり、検討の結果、資源循環税の継続に賛同であることと、意見として徴収するのに協力しやすい体制を取って欲しい旨を述べることになった。会長、専務理事にて対応予定。

(3) 顧問・行政懇談会について

事務局より、平成29年度顧問・行政懇談会の開催について説明があり、9月開催にて調整中であるが、日程が合わない場合は11月開催とすることとなった。

(4) 適正処理事業活動支援金について

事務局より、八幡浜地区並びに宇和島地区からの適正処理（公益目的）事業活動支援金交付申請について説明があり、申請のとおり理事会に諮ることとなった。

(5) 今後の協会のあり方について

事務局より、資料に基づき以下の点について説明あり、今後総務委員会で継続審議することとなった。

1) 協会名称変更について

2) 次期役員について

役員選考規程、定款について

3) 入会規程について

入会規程、定款について

3 報告事項

平成29年度 第3回理事会の開催

第3回理事会を平成29年7月29日(土)、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1 議 題

- (1) 資源循環促進税について
事務局より資料に基づき説明があり、理事から排出事業者の意識がなく理解が進んでいないことから税転嫁が出来難い、国の施設の入札条件に資源循環促進税が入っていない、税を払いやすい様にするため認知度を上げる必要がある旨等の意見があった。
それら意見を踏まえて、県のヒアリングに会長と専務理事が事務局案で対応することとなった。
- (2) 適正処理事業活動支援金について
事務局より資料に基づき説明があり、八幡浜地区及び宇和島地区について申請のとおり承認した。
- (3) 新規会員加入及び退会の承認について
事務局より資料に基づき説明があり、株式会社トラッシュソリューションズ及び有限会社山海興産の新規入会（正会員）並びに株式会社三浦組の業態変更（処分業の追加）について承認された。

2 報告事項

- (1) 総務委員会報告
事務局から資料に基づき一括して行政顧問懇談会と今後の協会活動のあり方等について説明があった後、村上総務委員長から、委員会において会長から県の3地方局等と協会の5地区3副会長との整合性の検討をしたらとの意見があり、名称変更等とともにこれら協会活動のあり方について検討していくこととなった旨報告があった。
- (2) 全産連委員会報告

事務局より、各議事録について一括して説明があった。

- (3) その他今後のスケジュールについて
事務局から資料に基づき、第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会については40名を各地区に割当を行う。また、委員会部会委員については一部委員を8月1日付で変更する等一括して説明があった。

なお、事務局から追加で、現在平成29年九州北部豪雨による災害廃棄物の木くず処理について環境省から会員の処理能力調査が来ている旨説明した際に、現地へ出向いて処理することも検討したらよとの意見があり、意見表明できる場では表明する旨専務理事が回答した。

平成29年度 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が松山市のリジェール松山で開催された。

○ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）

開催日 平成29年6月14日(水)

受講者数 130名

○ 産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）

開催日 平成29年6月20日(火)～21日(水)

受講者数 104名



平成29年度 優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

○ 産業廃棄物処理の実務者研修（基礎編）

開催日 7月5日(火)

開催場所 リジェール松山

受講者数 105名

研修内容

①開講挨拶

②「搬入管理と施設点検管理について」

（講師 服部 道紀氏）

③産業廃棄物処理の基礎（講師 岩田 隆氏）



○ 電子マニフェスト導入実務研修会及び操作体験セミナー

開催日 7月26日(水)

開催場所 生涯学習センター

受講者数 導入実務26名、操作体験20名

研修内容 電子マニフェストの仕組みと導入のメリット、業界別の具体的な運用方法操作体験

（講師 佐々木 基了 氏）



山本公一環境大臣を囲む会の開催

協会主催で、「山本公一環境大臣を囲む会」を、松山全日空ホテルローズルームで7月29日(土)に協会員約50名が参加して下記のとおり開催しました。

記

主 催：(一社) えひめ産業廃棄物協会

日 時：平成29年7月29日(土) 16:00～18:15

場 所：松山全日空ホテル3F ローズルーム

次 第：開会あいさつ

会 長 西山 周

講 演 「最新の環境問題の動向について」

環境大臣兼内閣府特命担当大臣(原子力防災担当) 山本 公一

来賓あいさつ

顧問 県議会議員 森高 康行

顧問 県議会議員 西原 進平



山本環境大臣講演



本田前会長乾杯



3 R システム事業化促進支援事業が決定

愛媛県産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業補助金は、今年度から補助対象が拡大されました。3 R システム事業化促進支援事業につきましては、5月8日から6月15日まで会員に対して募集したところ、4件の応募があり、7月18日事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査したところ、全件とも採択されました。

また、協会が行う3 R システム等調査研究事業については、昨年に引き続き意欲ある会員企業を主体に検討会を設置し再資源化方策について調査検討を行うとともに、新たに災害廃棄物処理研究調査では、災害時のBCP計画策定について理解促進を図るため愛媛大学矢田部特命教授による講演会『産業廃棄物処理業におけるBCP計画策定について』を11月頃に開催します。

会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
3 R システム事業化促進支援事業費補助金(会員)	ア 研究・開発事業 県内の産業廃棄物の3 R 及び減量化・製品化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備	3 / 4 以内 補助限度額 500万円	(株)住共クリエイト サービスセンター 再生重油低灰分化に向けた 試験研究	400万円
	イ 技術・設備導入事業 産業廃棄物の3 R 及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	1 / 3 以内 補助限度額 500万円	(株)E-システム 有機性廃棄物の 早期堆肥化事業	400万円
			(有)ジー・シー・オー 過熱水蒸気による リサイクル事業化技術導入	400万円
			愛媛砂利(株) 二次破碎機導入設備	400万円
3 R システム等調査研究事業(協会)	調査研究事業費 産業廃棄物の3 R のリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のBCP計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	3 / 4 以内	えひめ産業廃棄物協会 3 R システム等調査研究事業	200万円